

北海道Society5.0推進会議 の設置について



1 北海道Society5.0推進会議について



趣 旨

人口減少や少子高齢化が全国に先駆けて進行する北海道において、人手不足の解消や医療格差の是正、地域医療の確保、産業競争力の向上、地域の活性化など、ICTやAI、ロボットなどの未来技術を活用した活力ある地域社会を創造するため、本道が直面する諸課題を解決・実現する未来社会の姿を示す「北海道Society5.0構想」が策定され、本年4月6日に「北海道Society5.0懇談会」から知事へ提言された。今年度から「北海道Society5.0構想」の実現に向けて官民が連携した取組を展開するため、有識者会議を設置する。

議 題

今年度開催の目的

- ▶ 北海道Society5.0の推進に関する助言に関すること。
- ▶ **「北海道Society5.0推進計画（仮称）」の策定に関する協議に関すること。**
- ▶ その他、北海道Society5.0の推進に必要な事項に関すること。

実施方法

- ✓ Web会議（原則）
- ✓ 今年度年間6回程度を想定

協議内容の主なもの（案）

第1回（6月）

- ✓ 道の現状・課題等の情報共有
- ✓ 意見交換

第2回（7月）

- ✓ 計画の骨子案について協議
- ✓ 意見交換
- ✓ 今後の進め方

第3回（10月）

- ✓ 計画の素案について協議
- ✓ ヒアリング報告
- ✓ 意見交換
- ✓ 今後の進め方

第4回（11月）

- ✓ 計画の原案について協議
- ✓ 意見交換
- ✓ 今後の進め方

第5回（1月）

- ✓ パブコメ結果説明
- ✓ 意見交換
- ✓ 今後の進め方

第6回（2月）

- ✓ 計画最終案を協議

2 北海道Society5.0推進計画（仮称）について

計画の性質

- ✓ 「北海道Society5.0構想」の実現に向けたアクションプラン
- ✓ 「輝きつづける北海道 北海道総合計画」における特定分野別計画に位置づけ
- ✓ 「官民データ活用推進基本法」に基づく都道府県官民データ活用推進計画

計画期間

5年間（2021年度～2025年度）

※道の総合計画の終期と合わせたものを想定

策定時期

2021年3月（予定）

懇談会と推進会議 の違い

<懇談会>

北海道の10年後の未来社会を描いた「北海道Society5.0構想」を策定し、提言するもの

<推進会議>

ご提言いただいた構想の推進に関することや道の計画策定についてご助言をいただくもの

3 計画策定に向けた推進体制



【有識者】北海道Society5.0推進会議

構 成 員

学識経験者/民間事業者/関係機関・団体/行政
(4名) (2名) (2名) (2名)

役 割

- 北海道Society5.0の推進に関する助言
- 北海道Society5.0推進計画策定に関する協議
- その他北海道Society5.0に関すること

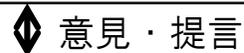


北 海 道

庁 議 (最終決定機関)

北海道ICT推進委員会

ICT, IoT推進プロジェクトチーム



【道民】パブリックコメント

連携・協力

意見交換

意見交換・連携

議論

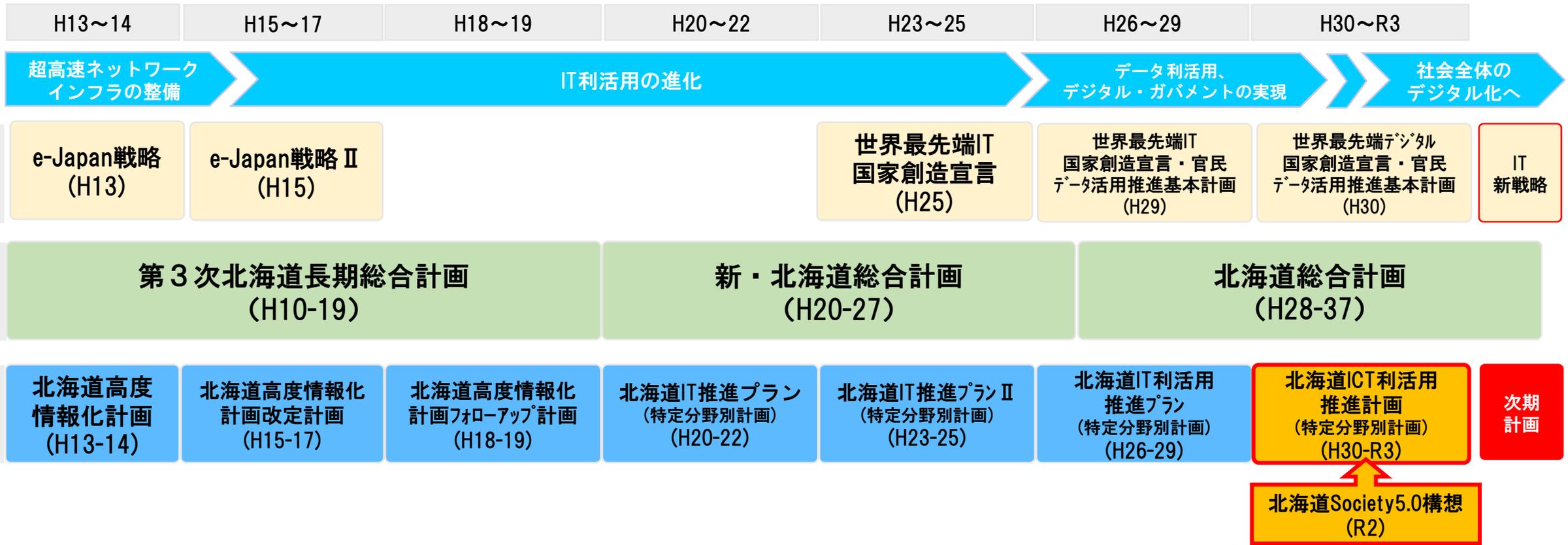
【国】北海道IT施策推進連絡会議 (DOIT6)

【関係機関・団体】
経済、商業、観光、漁業、など

【市町村】道内先進地との意見交換など

【道議会】総合政策委員会

参考：国と道の情報化戦略の変遷（まとめ）



道では、平成13年度から情報化推進計画を策定して、これまで道民の方々や企業、国（総合通信局等）、市町村などとICT利活用の将来ビジョン等を共有し、情報化を計画的に推進してきたところである。本年4月6日には、北海道Society5.0懇談会の山本座長より、道が直面する諸課題を5GやAI等の未来技術を活用することで解決し、活力ある地域社会を創造する「北海道Society5.0構想」について、知事へ提言されたところであり、これを受けて現行計画を1年前倒して改定を行うものである。